

第1会場

ビッグサイトTFTホール1000 (西館2F)

9:00~10:30

シンポジウム9

座長：橋本 重厚 (福島県立医科大学附属病院)

中島 和江 (大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部)

『チームの安全を支えるノンテクニカルスキル ～概念・訓練・実践』

- 9-1 チームSTEPPS(チームステップス)：エビデンスに基づいたチームトレーニング
ー安全文化を醸成し、チームパフォーマンスと患者安全を推進する

種田 憲一郎

WHO西太平洋地域事務局 (国立保健医療科学院)

- 9-2 ノンテクニカルスキルを意識した研修会の実践

米井 昭智

(公財)倉敷中央病院 医療安全管理室

- 9-3 泌尿器腹腔鏡手術におけるノンテクニカルスキルとリスク回避

岩村 正嗣

北里大学医学部 泌尿器科学

11:30~12:00

総会

13:00~14:00

市民公開特別講演2

座長：河野 龍太郎 (自治医科大学 医学部)

『チームで広報：防衛省大臣官房広報課』

伊藤 茂樹 (防衛省 大臣官房 広報課長)

14:10~16:10

市民公開ワークショップ2

座長：丸木 一成 (国際医療福祉大学大学院)

山内 桂子 (東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室)

『患者と医療者の情報共有は医療をどう変えるのか(2) ～患者参加による情報作成～』

- 2-1 患者・家族参加によるがん情報発信の取り組み

若尾 文彦¹、高山 智子²、渡邊 清高²、八巻 智香子²¹国立がん研究センター がん対策情報センター、²国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供研究部

- 2-2 “shared decision-making”：「共有」するものは何か？

中山 健夫

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻健康情報学分野

- 2-3** 患者・市民・医療者との、わかりやすく情報共有に有効な「採血」説明文書のモデルづくり
松浦 知子
医療の質・安全学会パートナーシッププログラム
- 2-4** 安全かつ質の高い外来採血業務を目指して
曾根 伸治
東京大学医学部附属病院 輸血部・検査部
- 2-5** 「新しい医療のかたち」賞のこれまで・これから
大熊 由紀子
国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット
- 2-6** 新しい医療のかたち～よりよい患者の育成への取り組み ペイシェントサロンの挑戦～
鈴木 信行¹、栗本 露¹、堀 里子²、藤田 優美子³
¹患医ねっと 代表、²東京大学大学院 情報学環/薬学系研究科、³東京大学薬学部
- 2-7** 医療安全への患者参加プログラム「阪大病院いろはうた」
中島 和江、池尻 朋、上間 あおい、團 寛子、高橋 りょう子、圓見 千代、服部 高子、
田中 宏明
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
- 2-8** まちで、みんなで認知症をつつむ～大牟田市地域認知症ケアコミュニティ推進事業～
大谷 るみ子
大牟田市認知症ライフサポート研究会

16:10～16:50

閉会式

表彰(ベストプラクティス賞・第7回「新しい医療のかたち」賞)

大会長挨拶 清水 利夫(独立行政法人国立国際医療研究センター病院 副院長 医療安全推進部門長 外科)

次期大会長挨拶

第2会場

ビッグサイトTFTホール500(西館2F)

9:00～11:30

シンポジウム10

座長:樋口 範雄(東京大学 法学部)

児玉 安司(東京大学 医療安全管理学)

『医療事故調査活動と医療安全』

10-1 本邦における医療事故調査制度のあるべき姿——「第三者機関」創設に向けて——

木村 壮介

日本医療安全調査機構

10-2 院内事故調査に求められる課題

長尾 能雅

名古屋大学大学院医学系研究科 総合管理医学講座 医療安全管理学

10-3 医療安全の向上に役立つ調査とは？

本間 覚
筑波大学附属病院 臨床医療管理部

10-4 特別発言 1：

国民(遺族)はどんな調査を求めているか？
永井 裕之
医療の良心を守る市民の会

10-5 特別発言 2：

医療従事者はどのように調査に関わればよいか？
—「診療行為に関連した調査分析モデル事業」の経験から—
日留川 基支子
一般社団法人日本医療安全調査機構中央事務局

12：00～12：50

共催セミナー 5

共催：日本光電東京株式会社

座長：佐藤 景二（静岡市立静岡病院 医療技術部臨床工学科）

『無駄鳴りアラーム改善のために今取り組むべきこと』

萩原 弘子（日本光電工業株式会社 テレメトリ技術センタ支援技術部）

13：00～14：30

ワークショップ 3

座長：嶋森 好子（公益社団法人東京都看護協会）

小林 美雪（山梨県立大学 看護学部）

『【超高齢化・多死社会における地域医療での安全の確保】

企画1：診療所での安全の取り組みとそれを支える多職種合同研修の効果』

3-1 神奈川県医療6団体による合同医療安全研修の効果～神奈川県歯科医師会での有効活用～

片山 繁樹¹、高津 茂樹²

¹神奈川県歯科医師会 医療管理委員会、²神奈川県歯科医師会 高津歯科医院

3-2 診療所での安全の取り組みとそれを支える多職種合同研修の効果

—院内および地域における医療安全の取り組みについて—

荘司 邦夫

津地区医師会 会長／三重耳鼻咽喉科 院長

3-3 院内での看護における安全の取り組みについて

木下 房美

三重耳鼻咽喉科 看護師長

3-4 診療所での安全の取り組みとそれを支える多職種合同研修の効果：

地域での合同研修への取り組みと効果について

鎌谷 義人

津歯科医師会

- 3-5 合同医療安全研修会において薬剤師会として今までに取り組んだ内容
中川 信之¹
¹有限会社NFP 代表取締役、²一般社団法人津薬剤師会 会長

14:40~16:10

ワークショップ4

座長：長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部）
杉浦 立尚（笑顔のおうちクリニック）

『【超高齢化・多死社会における地域医療での安全の確保】企画2：在宅における医療安全』

- 4-1 高齢者施設・介護事業所における「医療安全」
網谷 敏数
株式会社高齢者住宅新聞社 代表取締役社長
- 4-2 大規模在宅診療所の立場からー最近の経管栄養のトレンドとリスクについての検討ー
加藤 豊
医療法人豊隆会 ちくさセントラルクリニック
- 4-3 窒息事故と向き合う
三幣 利克
医療法人社団コンパス
- 4-4 在宅医療とISDについて
松本 尚浩
笑顔のおうちクリニック学習開発部門

第3会場

ビッグサイトTFTホール300（西館2F）

9:00~11:20

ワークショップ5

座長：清水 利夫（独立行政法人国立国際医療研究センター病院）
上原 鳴夫（医療の質・安全学会副理事長 東北大学名誉教授）

『医療の質・安全学会テーマ別ワーキンググループの報告』

- 5-1 医療の質安全学会月1ワーキンググループの報告(仮)
井部 俊子
聖路加看護大学 学長
- 5-2 伊藤 雅治
社団法人全国社会保険協会連合会
- 5-3 「わかりやすく情報共有に有効な説明文の作成プロセスにおける患者・市民参加」を
テーマとしたワーキンググループの報告
山内 桂子
医療の質・安全学会 パートナシッププログラム委員会
- 5-4 大島 伸一
独立行政法人国立長寿医療研究センター

- 5-5 「教科書編纂に向けた医療質・安全学(仮称)の枠組み設定」ワーキンググループ報告
小泉 俊三
財団法人東光会七条診療所 所長／佐賀大学 名誉教授

12:00～12:50

共催セミナー 6

共催：センチュリーメディカル株式会社
座長：藤盛 啓成（東北大学病院 医療安全）

『CVCマネジメントを究める』

西條 文人、武藤 満完（独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院 外科）

13:00～14:00

シンポジウム 11

座長：我妻 恭行（東北薬科大学薬学部 薬剤学教室）

『真に有効なダブルチェックを考える』

- 11-1 有効なダブルチェックを目指した取り組み
山崎 香織、菅田 智子、沖 健司、谷川 攻一
広島大学病院 医療安全管理部
- 11-2 真に有効なダブルチェックを考える ～注射薬ダブルチェックトレーニング実際と評価～
大島 誠、荒井 嗣美、秋元 安代
総合病院国保旭中央病院 看護部 小児科病棟
- 11-3 調剤業務における薬剤師の視点挙動から調剤ミスを考える
－視点計測機を用いた調剤ミスの要因解析－
中村 浩規
国家公務員共済組合連合会 東北公済病院 薬剤科
- 11-4 ダブルチェックの有効性を高める要因を考える
田中 健次
電気通信大学 大学院情報システム学研究科

14:10～15:10

ワークショップ 6

座長：井部 俊子（聖路加看護大学）
相馬 孝博（公益財団法人日本心臓血圧研究振興会付属榊原記念病院）

『トトロが教えてくれたこれからの医療 – これからの医療を支える世代の特徴を理解する –』

- 6-1 トトロが教えてくれたこれからの医療
保坂 隆
聖路加国際病院 精神腫瘍科、聖路加看護大学
- 6-2 主観的労働負担の何が、医療安全管理に影響を与えるのか？ 世代の特徴を理解する
古川 裕之
山口大学大学院 医学系研究科／医学部附属病院 薬剤部

第4会場

TFTビル東館9F・研修室908

7:05~8:45

第11回医療安全管理者ネットワーク会議

座長：古田 康之（安房地域医療センター 医療安全管理室）

山元 恵子（富山福祉短期大学看護学科）

『安全を優先し、確実な安全行動を実施する組織を創るために
医療安全管理者は何をなすべきか』

講演 1 医療安全の推進に「チーム医療」は必要ですか。チームで何ができるとよいですか。
医療安全管理者は何をするとよいですか。

種田 憲一郎

WHO西太平洋地域事務局（国立保健医療科学院）

講演 2 師長が動いた中小規模病院での医療安全の体制強化

佐々木 久美子

医療法人財団慈生会 野村病院

9:00~11:30

パネルディスカッション1

座長：嶋森 好子（公益社団法人東京都看護協会）

酒井 一博（公益財団法人労働科学研究所）

『医療分野の「雇用の質の向上」に関する報告書と労働環境の改善の推進について』

1-1 医療機関の勤務環境改善に向けた取組について

中野 孝治

厚生労働省労働基準局労働条件政策課 医政局総務課医療勤務環境改善推進室・看護課

1-2 労働科学の視点から見た雇用の質確保の重要性とその推進について

酒井 一博

公益財団法人労働科学研究所

1-3 急性期病院における労働環境改善についての取り組み

近森 正幸

社会医療法人近森会近森病院 院長

1-4 「働き続けるを実現する」ワークライフバランスへの取り組み

池田 恵津子

社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会 吹田病院

1-5 医師・看護師・コメディカルにとっての「働きやすい病院づくり」に向けて

保坂 隆

聖路加国際病院 精神腫瘍科

1-6 医療安全のための労働環境改善の日本看護協会の取り組み

松月 みどり

公益社団法人日本看護協会

12:00~12:50

共催セミナー 7

共催：株式会社メディシステムソリューション

座長：松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理室）

『前向きインシデントレポートの試み』

辰巳 陽一（近畿大学医学部附属病院 安全管理部 医療安全対策室）

13:00~13:54

一般口演 26 『教育・育成 4』

座長：保田 知生（近畿大学医学部附属病院 安全管理部・外科）

26-1 効果的な教育のためのe-learning作成について(第2報)

○朝倉 加代子、瀬尾 誠二、福田 智美

社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 医療安全管理部

26-2 教育用電子カルテを用いた医学部学生への医療安全教育ー指示授受の視点からー

○甲斐 由紀子¹、山崎 友義²、鈴木 斎王²、林 克裕³、三次 貴大⁴、荒木 賢二²¹宮崎大学 医学部 看護学科 基礎看護学講座、²宮崎大学医学部附属病院 医療情報部、³宮崎大学 医学教育改革推進センター、⁴宮崎大学大学院 医科学看護学研究科 看護学専攻修士課程

26-3 3年次計画で取り組んだ緊急時対応の体制作り

ーICLSコースを活用した部署別教育プログラムへの取り組みー

○矢吹 道子¹、岡田 綾²、関井 肇³¹順天堂大学医学部附属練馬病院 ICU・CCU、²順天堂大学医学部附属練馬病院 看護部長、³順天堂大学医学部附属練馬病院 救急集中治療科

26-4 AEDフォローアップ研修の評価ー主体的な演習時間の増加と継続的な練習の必要性ー

○野澤 博子¹、浅田 義和²、寺山 美華¹、市田 勝¹、長谷川 剛¹、鈴木 義彦²、岡田 裕美³、小畑 美加子⁴、青木 太郎⁵¹自治医科大学附属病院 医療安全対策部、²自治医科大学 メディカルシミュレーションセンター、³自治医科大学附属病院 集中治療部、⁴自治医科大学附属病院 第1外来、⁵日本BLS協会

26-5 学生から病院長まで！とことんTeamSTEPS導入の効果と今後

○辰巳 陽一^{1,2}、山田 明子¹、大磯 直毅¹、保田 知生¹、宮本 アキ^{1,3}、岩本 理恵^{1,3}、西隈 菜穂子⁴¹近畿大学医学部附属病院 安全管理部 医療安全対策室、²近畿大学医学部 血液内科、³近畿大学医学部附属病院 救命救急センター、⁴近畿大学医学部奈良病院

26-6 産婦人科クリニックでのBLS研修を広げるために

ーインストラクショナルデザインを用いた院内インストラクターの育成ー

○野田 小百合¹、大石 奨²、加藤 直子³、山下 守⁴¹津島市民病院 看護局、²豊田市消防本部、³医療法人葵鐘会 教育担当師長兼 人材開発課 次長、⁴医療法人葵鐘会 理事長

14:00~15:00

パネルディスカッション 2

座長：遠藤 英樹（独立行政法人国立病院機構水戸医療センター）

『Quality Improvement(医療の質の改善)について学ぶ学生と若手医師の集い』

2-1 伊澤 敏

長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院

2-2 Jo Inge Myhre

Innlandet Hospital Trust Division Gjøvik

第5会場

TFTビル東館9F・研修室909

9:00~9:54

一般口演27 『研修・講習』

座長：南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部）

- 27-1 全従業員対象の医療安全研修にチームワークトレーニング「チームの鎖」を導入と評価
○今永 たか子
医療法人社団春日会 黒木記念病院 医療安全管理室
- 27-2 医療安全講習会のアンケートからみた、開業歯科医師・研修歯科医の医療安全に係る認識の検討
○中島 丘^{1,2,3}、村上 幸生⁴、遠藤 由香⁵、米山 武義⁵、川津 博亨⁶、津野 宏⁷、片山 正昭⁸、渡辺 真人⁸、岩崎 妙子¹、長坂 浩^{2,3}
¹みほ歯科医院、²埼玉医科大学 医学部 臨床医学部門 麻酔科、³明海大学 歯学部 総合臨床医学講座 麻酔学分野、⁴明海大学 歯学部 総合口腔診断学分野、⁵駿東歯科医師会、⁶栃木県歯科医師会、⁷沼津市歯科医師会、⁸藤沢市歯科医歯会
- 27-3 口腔(歯科)保健センターにおける医療安全啓発事業および救急蘇生教育に関する実態調査
○渡辺 真人¹、中島 丘^{2,3}、長坂 浩²、前野 早苗¹、深澤 英美¹、岩崎 妙子³、榎本 雅宏¹、和田 光利¹、片山 正昭¹、鈴木 聡行¹
¹藤沢市歯科医師会、²埼玉医科大学 医学部 臨床医学部門 麻酔科、³みほ歯科医院
- 27-4 自治体立中規模急性期病院における看護学生国家試験対策支援事業の立ち上げと実践、その成果について
○細川 洋平¹、井上 郁²、森 博美³、木下 明美³、尾田 憲章⁴、中島 正之⁵、宮下 浩明¹、榎 系¹
¹近江八幡市立総合医療センター 管理者会、²京都橘大学 看護学部、³近江八幡市立総合医療センター 看護部、⁴近江八幡市立看護専門学校、⁵近江八幡市立総合医療センター 脳神経外科
- 27-5 医療安全のための仕掛けとしてのPSP教育プログラム部会
○長谷川 剛
自治医科大学 医療安全対策部
- 27-6 医療事故経験者が参加する医療安全研修と記憶特性
○伊豆倉 理江子
九州大学大学院 医学系学府 保健学専攻 看護学分野

10:00~10:45

一般口演28 『教育分析』

座長：伊澤 敏（JA長野厚生連 佐久総合病院）

- 28-1 クリニカルラダー別RCA研修会の実施報告と今後の課題 ～分析能力を高める取り組み～
○辻 宏美、樫田 真喜子、渡邊 美樹
医療法人王子総合病院
- 28-2 P-mSHELL分析を導入しての試み
○荒木 妙子¹、下室 公子²
¹社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院 医療安全課、²社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院 看護部
- 28-3 医療安全教育としてのeラーニング活用報告：利用状況の現状と今後の課題
○寺山 美華、野沢 博子、泉 玲子、市田 勝、鶴見 真理子、浅田 義和、長谷川 剛
自治医科大学附属病院 医療安全対策部
- 28-5 シナリオ・シミュレーションによる医療安全研修の企画・実施・進行の体験を通じて、院内教育のファシリテーションについて学ぶロールプレイ・プログラムの開発
○原田 賢治¹、小林 文枝²、星野 早苗²
¹東京農工大学 保健管理センター、²テルモ株式会社

- 28-6 専従安全管理者による院内職員安全研修の実施 —全職員受講を目指した複数回開催の試み—
 ○中野 由美子、林 泰広、鈴木 和明、大木島 尚弘
 総合病院 聖隷浜松病院 安全管理室

12:00~12:50

共催セミナー 8

共催：日本電気株式会社

座長：井上 大介（日本電気株式会社 医療ソリューション事業部）

『医療安全に寄与する電子カルテの構築 ～システム構築における意識の重要性～』

菊池 嘉

(国立国際医療研究センター 医療情報管理部門/エイズ治療研究開発センター 臨床研究開発部)

13:00~14:21

一般口演 29 『リスクマネジメント』

座長：伊藤 雅治（東京医科大学 医療安全管理学講座）

- 29-1 インシデント報告に対する医療職の個人認識と部署・病院全体の取り組みの受けとめとの関連
 ○三原 美津江¹、内田 宏美²、津本 優子²
¹島根大学医学部附属病院 手術部、²島根大学 医学部 看護学科
- 29-2 医師インシデントレポート増加のための取り組み結果と医師の認識変化
 ○種井 隆文¹、田中 夕美子²
¹名古屋セントラル病院 脳神経外科、²名古屋セントラル病院 安全管理室
- 29-3 高精度放射線治療とリスクマネジメント 医学物理士の重要性について
 ○中村 勇司
 渋川総合病院 放射線科
- 29-4 インシデント報告の確認 ～現場に行くことの意味～
 ○油井 美智子
 JA長野厚生連 佐久総合病院 看護部
- 29-5 精神科単科病院における自殺リスク低減への取り組み —「自殺リスクアセスメントシート」の開発—
 ○池田 倫子¹、面高 有作¹、濱崎 健二¹、蓑毛 一美¹、来海 陽平¹、安川 文朗²
¹特定医療法人佐藤会 弓削病院、
²横浜国立大学大学院 国際マネジメント研究科(前 熊本大学大学院社会文化科学研究科)
- 29-6 「医療における安全文化に関する調査」の実施結果を活用する各部門リスクマネージャーの認識調査
 ○坂本 佳代子、黒田 尚美、福島 五穂美、山本 繁秀、喜多 良昭、小林 里美、濱田 和代、五百蔵 智明、最所 裕司、上坂 好一
 姫路赤十字病院
- 29-7 検査部における医療安全活動 ～4年間の変化と今後の課題～
 ○二村 亜子、牧 俊哉、遠藤 美紀子、山岸 宏江、湯浅 典博
 名古屋第一赤十字病院 検査部
- 29-8 がん薬物療法安全マネジメントシステムによる効果的なセイフティマネジメントと継続的な改善の実施
 ○河田 健司¹、船橋 依理子¹、加藤 久乃¹、片方 容子²、秋吉 麻紀²、神納 美保²、野田 早智恵²、太田 秀基³、安藤 洋介³、熊澤 里美³
¹藤田保健衛生大学 医学部 臨床腫瘍科、²藤田保健衛生大学病院 看護部、³藤田保健衛生大学病院 薬剤部

29-9 BVM管理における臨床工学技士の取り組み

○齋藤 雄亮¹、三好 誠吾¹、藤野 利子²

¹仙台赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課、²仙台赤十字病院 医療安全推進室

14:30~15:15

一般口演30 『事故調査・倫理』

座長：矢野 真（日本赤十字社事業局）

30-1 ピアレビューによる院内事故調査委員会をふりかえる

○村尾 仁、松上 美由紀、角江 司、山口 陽子、梶原 奈津子
大阪医科大学附属病院

30-2 重大な有害事象発生時における性格の異なる2つの院内事故調査委員会の進め方について

○渡邊 両治
東京都済生会中央病院 医療安全対策室

30-3 「助産師倫理綱領」の理解への取り組み ～学習会・倫理カンファレンスを通して～

○岩淵 理恵、昆 千宜、畠山 なを子
岩手県立磐井病院 産婦人科

30-4 医事紛争が困難化しやすい疾患・診療行為類型の検討 裁判例からの考察

○越後 純子
金沢大学附属病院

30-5 産科医療補償制度の認定事例を助産師の視点で分析して

○天本 都、土屋 八千代
滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科

第6会場

TFTビル東館9F・会議室9-A

9:00~9:54

一般口演31 『薬剤管理』

座長：和泉 啓司郎（独立行政法人国立国際医療研究センター病院 薬剤部）

31-1 薬剤管理の5S化による薬剤投与忘れ防止への取り組み

○板垣 伸子¹、右近 好美¹、原 桂²

¹東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 看護部、²東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 医療安全推進室

31-2 製剤バーコードを利用した混注認証と排他処理により実現する注射安全

○田中 聖人¹、徳田 洋子²

¹京都第二赤十字病院 医療情報室、²京都第二赤十字病院 医療安全推進室

31-3 医療行為発生時点管理システムによる与薬管理に関する研究

○小森 正智、吉田 謙一
東京大学医学部 法医学教室

31-4 認定病院患者安全推進協議会 会員病院を対象にした救急カートの実態調査

○伊藤 悦子¹、赤木 晋介²、大川 禎子³、高柳 克江⁴、土屋 文人⁵、橋本 晋一⁶、松本 直子⁷、
村田 実希郎⁸、矢野 真⁹、渡邊 幸子¹⁰

¹公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業推進部、

²公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 薬剤部、

³独立行政法人国立病院機構 あきた医療センター 看護部、⁴医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 看護部、

⁵一般社団法人日本病院薬剤師会、⁶長野厚生農業協同組合連合会 小諸厚生総合病院、

⁷淀川勤労社厚生協会 西淀病院 医療安全管理室、⁸横浜薬科大学 薬剤学研究室、⁹日本赤十字社 事業局、

¹⁰医療法人橘会 東住吉森本病院 医療安全管理部

- 31-5 A病院における内服与薬システム改善後の評価
—インシデントレポートの2年間の比較より—
○山崎 時子、浅野 佐恵子、富樫 賢一、安達 茂實、今井 朋子、小柳 智秀
長岡赤十字病院 医療安全推進室
- 31-6 内服管理の定着に向けた内服管理選択MAPの活用
○木本 千晶、丹野 佳代子、館岡 真理、國井 理恵
いわき市立総合磐城共立病院 看護部 循環器内科病棟

10:00~10:54

一般口演 32 『薬剤インシデント』 座長：藤盛 啓成（東北大学病院 医療安全推進室・乳腺内分泌外科）

- 32-1 抗がん薬等の血管外漏出に対する院内の対応とその効果
○永井 弥生、河村 恵美、永井 和巳、富丘 洋子、好本 裕平
群馬大学医学部附属病院 医療安全管理部
- 32-2 自己管理内服薬インシデントに関する取り組み —内服薬管理計画フローチャートの導入—
○河村 恵美、富丘 洋子、永井 和巳、永井 弥生、好本 裕平
群馬大学医学部附属病院 医療安全管理部
- 32-3 病棟常駐薬剤師配置によるインシデント低減への効果
○山崎 香織¹、谷川 攻一¹、沖 健司¹、菅田 智子¹、黒崎 達也²、中村 マリ子²、佐藤 智人²、嶋田 江理嘉²
¹広島大学病院 医療安全管理部、²広島大学病院 内服ワーキング
- 32-4 手術室における施錠管理薬剤の見直し
○鶴谷 悠未
京都民医連中央病院 手術室 主任
- 32-5 確認不足による投薬インシデント減少に対する取り組み
～5R+Aチェック表を用いた誤認防止チェックを実施～
○佐野 美和子、林 真由美、福村 文雄
飯塚病院
- 32-6 輸液・シリンジポンプ安全使用研修の実施と教育システムの構築
○天間 美子¹、野沢 義則²
¹八戸市立市民病院 医療安全管理室、²八戸市立市民病院 臨床工学科兼医療安全管理室

12:00~12:50

共催セミナー 9 共催：日本イーライリリー株式会社
座長：青儀 健二郎（独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 臨床研究センター）

『報道事例から学ぶ医薬品投与時の安全管理 —“知らなかった!!”では、すまされない—』

古川 裕之（山口大学大学院 医学研究科／医学部附属病院 薬剤部）

13:00~13:54

一般口演33 『薬剤の影響』

座長：遠山 信幸（自治医科大学 さいたま医療センター）

- 33-1 看護師の与薬準備に関する業務量と心理 ー与薬カート導入前後の変化ー
○阿保 都子¹、二階 千津子¹、樋口 三枝子¹、堀内 悦子¹、石川 千鶴子¹、上原子 瑞恵¹、工藤 順子¹、小倉 能理子²
¹国立大学法人弘前大学医学部附属病院 看護部、²国立大学法人弘前大学大学院 保健学研究科 健康支援科学領域
- 33-2 添付文書に定められているチアマゾール処方後の血液検査の実施状況に関する分析
○南須原 康行¹、佐久嶋 研²、沖 洋光³、山田 武宏³、井関 健³、梅木 玲緒奈⁴、遠藤 晃⁴、石川 誠¹
¹北海道大学病院 医療安全管理部、²北海道大学病院 神経内科、³北海道大学病院 薬剤部、⁴北海道大学病院 医療情報企画部
- 33-3 視覚障害者の服薬実態と適正な服薬に必要な要素
○定本 清美¹、鷺原 祐規²、薬師寺 史厚³
¹横浜薬科大学 臨床薬学科、²東邦大学 薬学部、³都立墨東病院 内科
- 33-4 インスリン皮下注射指示の電子化が医療の質と安全にもたらす影響についての検討
○矢藤 繁¹、伊藤 由実子²、高梨 典子^{1,2}、堀内 学¹、飯田 育子^{1,2}、中野 良仁¹、山口 剛¹、和田 哲郎¹、玉岡 晃^{1,3}、本間 覚¹
¹筑波大学附属病院 臨床医療管理部、²看護部、³副院長
- 33-5 スタチン系薬剤処方患者におけるCK測定頻度の実態とCK上昇イベントの発生率
○佐久嶋 研¹、大庭 幸治²、西村 千佳子²、佐藤 典宏²、梅木 玲緒奈³、遠藤 晃³、南須原 康行⁴
¹北海道大学大学院医学研究科 連携研究センター レギュラトリーサイエンス部門評価科学分野、²北海道大学病院 高度先進医療支援センター、³北海道大学病院 医療情報企画部、⁴北海道大学病院 医療安全管理部
- 33-6 クリティカルケア領域における看護師のリスク認知と不安全行動からみた安全対策の検討
○岡田 裕美¹、茂呂 悦子²、河野 龍太郎³
¹自治医科大学、²自治医科大学附属病院 看護部、³自治医科大学 医学部 メディカルシミュレーションセンター

14:00~14:45

一般口演34 『患者とのコミュニケーション』

座長：都築 正和（公益財団法人日本国際医学協会）

- 34-1 医療の側から患者の側への暴言、暴力の検証
○宮治 眞¹、天野 寛¹、加藤 憲¹、長尾 能雅^{1,2}、早川 哲夫^{1,3}、勝又 一夫^{1,4}、城 義政¹、大輪 芳裕¹、横井 隆¹、柵木 充明¹
¹愛知県医師会、²名古屋大学医学部附属病院、³国家公務員共済組合連合会 名城病院、⁴医療法人勝又病院
- 34-2 気質分類によるコーチング手法を取り入れた看護・ケアの実践
木村 光宏、○遠藤 由貴、木村 陽子、佐々木 美由起、岩淵 由香、佐瀬 智紗、阿部 忠義
大腸肛門科 仙台桃太郎クリニック
- 34-3 医学と言語学の交わりの歴史 ～医療言語学のすすめ～
○杉原 正子^{1,2}
¹慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室、²駒木野病院
- 34-4 医療専門機関と点字図書館との連携による情報弱者へのがん情報提供の試み
○八巻 知香子¹、高山 智子¹、渡邊 清高¹、櫻井 雅代¹、澤井 映美¹、若尾 文彦¹、岩井 和彦²、高橋 三智世²
¹国立がん研究センター がん対策情報センター、²堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター
- 34-5 パンフレットを活用したオリエンテーションの効果と課題
～患者確認場面での患者参加を目指して～
○増永 京子、佐久間 亜希子、蘭部 敬子、石原 弘子
公益財団法人筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院

第7会場

TFTビル東館9F・研修室904

9:00~9:54

一般口演35 『チーム医療1』

座長：矢作 尚久（独立行政法人国立成育医療センター）

- 35-1 リアリスティックアプローチを応用した患者安全の試み
～チーム医療のメタ認知能力向上を目指して～
○清水 広久
埼玉成恵会病院 外科
- 35-2 心臓カテーテル室における急変時に対する取り組み
○西村 光剛
京都民医連中央病院 検査課
- 35-3 チームで取り組むRapid Response System(RRS)
ーシミュレーション教育による患者急変を発見するスキルアップを目指してー
○佐々木 愛¹、工藤 由子⁴、佐久間 瞳¹、永谷 創石⁴、今野 真理³、津久田 純平⁵、内藤 貴基⁵、藤谷 茂樹²
¹東京ベイ・浦安市川医療センター 医療安全委員、
²東京ベイ・浦安市川医療センター センター長 聖マリアンナ医科大学 臨床教授、
³東京ベイ・浦安市川医療センター 医療安全管理室 医療安全管理者、
⁴東京ベイ・浦安市川医療センター 看護師、⁵東京ベイ・浦安市川医療センター 医師
- 35-4 厚生労働省委託チーム医療普及推進事業ワークショップの報告
～「チーム医療が医療を安全にする」ワークショップから見てきたもの～
○中澤 恵子¹、大島 正子¹、渡邊 正志¹、小林 美智子²、高田 伸夫²、龍野 一郎²、浅木 貴子³、
風間 利文³、向井 秀樹³、中原 るり子⁴
¹東邦大学、²東邦大学医療センター、³東邦大学医療センター 大橋病院、⁴東邦大学
- 35-5 チームSTEPPSのツールを身近に感じてもらう学習会
○佐藤 恭江
総合病院 岡山協立病院
- 35-6 チーム医療を推進するためのイメージトレーニング、「茶番劇」型研修の実際
○渡邊 正志¹、中澤 恵子¹、大島 正子¹、前村 俊満¹、寺田 享志¹、中原 るり子²
¹東邦大学医療センター大森病院 医療安全管理部、²東邦大学 看護学部

10:00~10:54

一般口演36 『職種間コミュニケーション』

座長：川上 弥生（社会医療法人財団慈泉会 相澤病院）

- 36-1 チームで取り組む心電図モニタの安全管理 ～さいたま市民MACT活動の効果～
○富永 あや子¹、後藤 悟¹、富田 晴樹²、山矢 純子³、三浦 美智枝³、石田 岳史⁴
¹さいたま市民医療センター 臨床工学科、²看護部、³医療安全管理室、⁴内科
- 36-2 病棟薬剤師との連携を考える ー病棟薬剤師が配置されてー
○亀森 康子、遠山 信幸、桑原 奈穂子
自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全管理室
- 36-3 「stattコールフィードバック会議」によるチーム医療の質向上に関する取り組み
○藤原 喜美子、北條 文美、海渡 健、三森 教雄、小川 武希
東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部 医療安全推進室
- 36-4 かかりつけ患者に対する電話対応の取り組み ー病状問い合わせメモの試みー
○瀬田 とも子、根岸 千晴
埼玉県済生会 川口総合病院 医療安全対策室

36-5 急性期病院における介護福祉士の重要性

○名取 勝

社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

36-6 点から面へ、地域と連携するスモークフリー活動による禁煙指導者養成と職員喫煙率の低減化

○細川 洋平¹、森 博美²、寺田 るみ子²、田中 郁子²、片山 初美²、田中 知代³、平野 香澄³、田邊 智⁴、川元 利哉⁵、松尾 宏俊⁶

¹近江八幡市立総合医療センター 診療部 病理診断科、²近江八幡市立総合医療センター 看護部、

³近江八幡市立総合医療センター 臨床検査科、⁴近江八幡市立総合医療センター 事務部 情報管理課、

⁵近江八幡市立総合医療センター 事務部 経営企画室、⁶近江八幡市立総合医療センター 診療部 神経内科

13:00~13:54

一般口演37 『チーム医療2』

座長：安原 洋（東京大学医学部附属病院 手術部）

37-1 気質分類を取り入れた看護計画 そのストラテジーについて

木村 光宏、○佐々木 美由起、木村 陽子、遠藤 由貴、岩淵 由香、佐瀬 智紗、阿部 忠義

大腸肛門科 仙台桃太郎クリニック

37-2 休日夜間の診療を単独の医師による医療ではなく、診療科を超えた病院チーム医療にする利点

○本間 覚¹、中野 良仁¹、高梨 典子¹、飯田 育子¹、堀内 学¹、矢藤 繁¹、和田 哲郎¹、玉岡 晃²

¹筑波大学附属病院 臨床医療管理部、²筑波大学附属病院 医療の質と安全担当副院長

37-3 医療安全管理体制における職種間連携に関する実態調査

○北野 達也¹、藤原 奈佳子²、齋藤 悦子³

¹星城大学 経営学部 健康マネジメント系 医療マネジメントコース、²愛知県立大学 看護学部 看護管理学、

³中京学院大学 看護学部 看護学科

37-4 医療コンフリクト・トランスフォーメーション：

“紛争から組織変革へ”の新たなアプローチ —紛争解決学のレンズから—

○外村 晃

医療法人佐藤会 弓削病院 総務部

37-5 医師が関与したインシデントの分析

○福永 篤志^{1,2}、花井 久美子²

¹国家公務員共済組合連合会 立川病院 脳神経外科、²国家公務員共済組合連合会 立川病院 医療安全管理室

37-6 チームで創る医療安全に関する研究

—手術室発生事象におけるTeamSTEPSのコンピテンシーによる分析と再発防止—

○志摩 久美子、江原 一雅

滋慶医療科学大学院大学 医療安全管理学 専攻生

14:00~14:54

一般口演38 『院内救急』

座長：高橋 英夫（名古屋大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学講座）

38-1 入院患者の予期せぬ死亡

○廣野 靖子、辻 博

黒部市民病院 医療安全管理室

38-2 北里大学病院Rapid Response System導入後2年の経過報告

○小池 朋孝¹、新井 正康¹、森安 恵実¹、服部 潤²、黒岩 政之²、荒井 有美³、北原 孝雄²

¹北里大学病院 救命救急センター部 RST/RRT室、²北里大学医学部 救命救急医学、³北里大学病院 医療安全管理室

- 38-3 院内急変対応シミュレーションに対する評価
○吉田 実和¹、萩原 正子²、田口 裕紀子¹、升田 好樹³、山下 敏彦²
¹札幌医科大学附属病院 看護部、²札幌医科大学附属病院 医療安全推進部、³札幌医科大学 集中治療医学
- 38-4 RRSを定着させる為の取り組み ～リスクマネージャー対象安全研修報告～
○竜 トシ子¹、井上 浩子¹、藤谷 茂樹²、平 泰彦³、田中 雄一郎¹、北川 博昭⁴
¹聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室、²東京ベイ・浦安市川医療センター、
³聖マリアンナ医科大学 救急医学、⁴聖マリアンナ医科大学 小児外科
- 38-5 ユビキタス医療機器安全見守りシステムを用いた人工呼吸器アラームの研究
○笠松 眞吾¹、江守 直美²、井隼 彰夫³
¹福井大学医学部 医療情報部、²福井大学医学部附属病院 看護部、³福井大学医学部 医療倫理・医療安全学
- 38-6 透析患者の防災意識向上を目指した避難訓練を実施して
○吉川 元将^{1,4}、守時 祐輔^{1,4}、松田 英樹^{1,4}、澤田 正二^{1,4}、佐伯 昭子^{2,4}、吉岡 知子^{2,4}、大槻 希世子^{2,4}、
清水 和子^{2,4}、小山 正樹^{3,4}、今田 直樹³
¹西陣病院 臨床工学科、²西陣病院 看護部、³西陣病院 腎臓・泌尿器科、⁴西陣病院 透析センター災害対策委員会

第8会場

TFTビル東館9F・研修室905

9:00~9:54

一般口演39 『組織管理と安全1』

座長：古川 裕之（山口大学大学院 医学系研究科）

- 39-1 静脈血栓塞栓症予防対策チーム立ち上げから2年、活動を振り返る
○木村 由佳理^{1,8}、山中 多聞^{1,2}、長屋 慶^{1,2}、伊藤 五月^{1,3}、半田 厚子^{1,3}、高野 利枝^{1,3}、畑中 貞雄^{1,4}、
中鉢 亮^{1,5}、熊谷 明弘^{1,6}、渡邊 一^{1,7}
¹東北薬科大学病院、²医局、³看護局、⁴薬剤部、⁵臨床工学室、⁶中央検査部、⁷医事課、⁸医療安全対策室
- 39-2 当院における病院機能評価とISO9001認証取得による医療の質向上の取り組みについて
笠原 俊¹、○阿部 毅彦¹、角田 貢一¹、関根 晃¹、前田 陽子¹、川井 ひで子¹、朝倉 健¹、大西 一徳¹、
針谷 康夫¹、宮崎 瑞穂²
¹前橋赤十字病院 QMS、²前橋赤十字病院 院長
- 39-3 医療安全全国共同行動「3a経鼻栄養チューブ挿入時の位置の確認の徹底」チームの活動報告
ー5年間の活動から安全な経鼻栄養チューブ挿入と管理に向けての取り組み結果ー
○山元 恵子¹、藤盛 啓成²、須田 喜代美³、矢部 こずえ⁴、関 良充⁵、風間 敏子⁶、深谷 真智子⁷、
寺見 雅子⁸
¹富山福祉短期大学 看護学科、²東北大学附属病院、³竹田総合病院、⁴新潟西蒲メディカルセンター病院、
⁵東京北社会保険病院、⁶台東区立台東病院、⁷神奈川看護協会、⁸新横浜リハビリテーション病院
- 39-4 看護師長ではない看護職医療安全推進者の役割遂行のあり様
○吉野 初恵
前橋赤十字病院
- 39-5 新病院における患者誤認防止対策の成果と課題 ー患者確認標準化への取り組みー
○原 桂¹、児島 章¹、吉田 和彦¹、浅野 晃司¹、落合 和徳¹、下野 僚子²、水流 聡子²、棟近 雅彦³、
飯塚 悦功²
¹東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 医療安全推進室、²東京大学大学院 工学系研究科、³早稲田大学 理工学術院
- 39-6 医療事故防止委員会再編後の効果報告
○國武 奈美子、西村 加代子、中河 宏治、岡村 幹夫
社会医療法人寿楽会 大野記念病院

10:00~10:54

一般口演40 『エラー防止』

座長：中山 健夫（京都大学大学院）

40-1 医療事故のハイスTOPパーナースにみられる特性：STOPパーの構成要素に関する探索

○田中 共子¹、兵藤 好美²、山中 寛恵³

¹岡山大学 社会文化科学研究科、²岡山大学 保健学研究科、³京都大学医学部附属病院

40-2 エラーに気づく、気づかれる：他者のエラーに気づく個人特性の検討

○大西 アイ子¹、石松 一真²、江原 一雅²

¹一般財団法人甲南会 六甲アイランド甲南病院 医療安全対策室、
²滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻

40-3 看護師の失敗傾向が内服薬と薬時の確認不足に及ぼす影響 —与薬カート利用において—

○清水 真由美、堀内 悦子

弘前大学医学部附属病院 看護部

40-4 個人属性による医療チーム内での他チーム員の不安全行動目撃頻度、問題指摘行動とインシデント報告の違い

○奥山 絢子¹、山口(中上) 悦子²、早川 和生¹

¹大阪大学大学院 医学系研究科 総合ヘルスプロモーション科学講座、
²大阪市立大学大学院 医学系研究科 医療安全管理学講座

40-5 ネームバンドの装着率及び装着したネームバンドによる患者認証率の100%を目指して

○飯田 育子^{1,2}、大山 由美子²、金澤 重乃²、寺田 えり子²、白川 洋子²、高梨 典子^{1,2}、矢藤 繁¹、
和田 哲郎¹、堀内 学¹、本間 覚¹

¹筑波大学附属病院 臨床医療管理部、²筑波大学附属病院 看護部

40-6 当院透析センターの抜針事故防止対策

～シャント肢チェック・安全ラウンドを実施して～

○松田 英樹、守時 祐輔、吉川 元将、澤田 正二、佐伯 昭子、池田 裕子、大槻 希世子、田中 健太郎、
小山 正樹、今田 直樹

西陣病院 臨床工学科

13:00~13:54

一般口演41 『組織管理と安全2』

座長：長谷川 剛（自治医科大学 医療安全対策部）

41-1 我が国における病院PFI(Private Finance Initiative)事業と医療の質・安全に関する調査研究

○稲岡 佳子、武田 裕、田中 伸

滋慶医療科学大学院大学

41-2 深部静脈血栓リスク評価を入院時に全患者に実施評価するに至った経緯と経過

—全患者(16歳以上)に実施する道のりと病院としてのしくみ作り—

○花田 真弓¹、滝本 壽郎¹、辻本 とし子¹、都甲 真紀¹、池澤 和美¹、北村 幸子¹、川又 和代¹、山元 恵子²

¹春日部市立病院 安全管理室 安全管理者、²富山福祉短期大学

41-3 本院における薬剤師の医療安全文化醸成度に関する検討

○塚本 篤¹、廣瀬 昌博^{1,2}、津田 佳彦¹、江上 廣一¹、本田 順一¹、島 弘志¹

¹聖マリア病院 医療の質管理本部、²鳥根大学医学部附属病院 病院医学教育センター

41-4 本院における事務職員の医療安全文化醸成度に関する検討

○津田 佳彦¹、廣瀬 昌博^{1,2}、塚本 篤¹、江上 廣一¹、本田 順一¹、島 弘志¹

¹聖マリア病院 医療の質管理本部、²鳥根大学医学部附属病院 病院医学教育センター

- 41-5 組織コミットメントと介護の質に関する調査研究
○内海 かおり¹、小野セレスト 摩耶²、山下 哲平²、武田 裕²
¹滋慶医療科学大学院大学 医療安全管理学専攻 修士課程、²滋慶医療科学大学院大学 医療安全管理学専攻
- 41-6 小児科病棟における看護体制再編前後の医療安全に関する報告書の分析
○熊倉 寿希、坂上 倫子、桑島 拓大、安川 愛莉、早坂 瑞樹、佐竹 恵美子
北海道大学病院 看護部 5-1ナースステーション

14:00~14:54

一般口演42 『労働環境・体制』

座長：下野 僚子（東京大学）

- 42-1 作業中断時の指さし呼称の効果学ぶゲーミングシミュレーション
—医療安全のための心理教育法の開発(1)—
○兵藤 好美¹、田中 共子²
¹岡山大学大学院 保健学研究科、²岡山大学大学院 社会文化科学研究科
- 42-2 検査結果の未確認を防ぐ安全な仕組み作り
○宮原 勝彦¹、當間 寛¹、伊藤 義高¹、中内 利彦¹、野中 知子¹、小瀬 裕美子¹、稲熊 大城¹、
岸 真司¹、佐藤 公治¹、安藤 恒三郎²
¹名古屋第二赤十字病院 医療安全推進室、²日本赤十字豊田看護大学
- 42-3 腰痛予防対策のシステム構築とその効果 ～持ち上げない労働環境とケア～
○山中 寛恵¹、和田山 智子¹、桑原 宏美¹、松本 紀子¹、川下 育子¹、内藤 知佐子²、青山 朋樹³、
永井 宏達³、合野 由香¹、堀 恵子¹
¹京都大学医学部附属病院 看護部、²京都大学医学部附属病院 総合臨床教育研修センター、
³京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻
- 42-4 病院看護師の深夜勤における作業実態と生理的指標の関連
○林 知江美¹、中迫 勝²、飛田 伊都子²、蛭原 桂子¹、山田 利恵¹
¹三菱京都病院 看護部、²滋慶医療科学大学院大学
- 42-5 島しょ地域に勤務する看護職の法的責任認識に関する研究
○仲松 たくみ¹、山内 豊明²
¹名古屋市立大学 看護学部、²名古屋大学 医学部 保健学科
- 42-6 KYTの効果を認識させるための取り組み —「ひとりKYT」の導入を試みて—
○山本 かな子¹、後藤 小百合²
¹埼玉医科大学総合医療センター 7階西病棟、²埼玉医科大学総合医療センター 医療安全対策室